

豆田町並み通信

第59号

発行者
豆田町
伝建保存会
27年3月

町並み保存審議会開催される！

一月二十二日（木）、市役所に於いて、平成二十六年第二回の日田市町並み保存審議会が開催されました。

今回の主な議題として複数棟及び大規模修理物件を所有する薫長酒造や長福寺の修理計画をどう取り扱うのか審議しました。

薫長酒造は平成四十九年までの長福寺は平成三十八年までの長期計画がそれぞれ提出されており、今回の審議会では参考資料として尊重するものの、他の修理要望物件と比較検討しながら、各年度の修理物件として承認する事としました。



平成27年度の修理物件を協議した審議会

その上で、平成二十七年年度の修理候補物件として、薫長酒造の穀蔵、長福寺の鐘楼、佐藤正剛家の長屋の三件を保存修理補助事業として承認しました。

また公開活用事業として、旧船津歯科の修理工事の継続と旧古賀医院の離れ座敷の耐震補強設計及び敷地内のレンガ塀の耐震補強工事を平成二十七年年度内に実施する事も併せて承認されました。

また、防災事業として屋外消火栓を二基新たに設置する事、旧古賀医院の車庫棟に防災放送設備を設置する事も承認されました。

お知らせ

豆田地区の屋外消火栓設置済数は、木下酒店前、旧船津歯科横、まちづくり歴史交流館前、田町の田嶋俊男家前の四基を加えて、平成二十六年年度末には合計十五基となりました。

尚、交流館にはAEDも設置され、防火水槽二基と併せて、防災拠点としての整備が進んでいます。

十周年記念講演会開催

二月七日（土）若野屋に於いて豆田町が伝建地区に選定されて十年になる事から記念の講演会が住民四十名が参加して行なわれました。

講師となったのは、伝建地区三十年を迎えた三重県亀山市のNPO 東海道関宿清水孝哉理事長で合併する前の関町の町長を務めた経歴を持つ方でした。

清水理事長は自身の町おこしの経験から「住んでる皆さんはオーケストラに例えれば、指揮者であり演奏家です。それぞれの町屋が違ったメロディーを奏でていくものの、総合すると落ち着いた調べとなっておもむきのあるまちなみをつくりだしているのです」と語り、自分の生活を大切にしながら、町並みと調和した町おこしを進める事の重要性を話されました。



町おこしの基本と併せて、ボランティアガイドの組織化や小学生への伝統継承等の活動を語る清水理事長

防火訓練実施！

一月二十六日（月）文化財防火デーに併せて行なわれた防火訓練には、地元住民三十名が参加し、日田消防署職員の指導を受けて、屋外消火栓とAEDの使用方法について訓練が行なわれました。

最初にまちづくり歴史交流館前に設置してある屋外消火栓を使った放水訓練が行なわれ参加者は実際に放水しながら、水の勢いを肌で感じていました。次に室内に移動し、心臓疾患で倒れた人が出たとの想定の下、用意されたAED機器を使つての蘇生方法を学びました。参加者は前年実際に火災が起きており、訓練の大切さを語っていました。

操作の
方法を
く参加者



AEDを使った
蘇生方法を訓練する参加者



流し雛行事行われる

三月一日(日)、恒例の流し雛行事が桂林荘公園内の特設会場にて行なわれました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、遠くは静岡県や神奈川県から訪れた観光客を含め、三百名を越す来訪者が、願いを書いた「紙雛」を城内川に流していました。

又、英国から来た夫婦も参加し、「幸せが永遠に続きます様に」(勿論英語で)と「紙雛」に書いて、こうした日本の伝統行事は素晴らしいと感想を語っていました。

なお、同時開催の野点行事は雨天の為、室内会場「紙音」に於いて、竹内社中によるお手前で行なわれ、二百名に抹茶とお菓子が振舞われました。

(「紙雛」に願いを込めて流す子供達)



願い事を書く
英国人女性

ひなまつりマラソン 豆田を走り抜ける!

三月八日(日)、「第十六回天領日田ひなまつり健康マラソン大会」が開催され、今回初めての試みとして、ハーフマラソンコースに豆田町が編入され、午前九時より十時までを車両進入禁止にして行われました。

時速二十km近いスピードで走る選手もいれば、かぶり物をして豆田の町並みを楽しみながら走る選手や視覚障害がある為伴走の人と一緒に走る選手など、約五三〇名の男女が豆田を走り抜けました。

応援の観光客は選手が横を走り抜ける度に「がんばれ、がんばれ」の声援を送っていました。



観光客の声援に手をふって応える選手

初午祭行なわれる!

二月十一日(水)には廣瀬資料館主催の源平衛稲荷の初午祭が、又二月十五日(日)には三本松自治会主催の三本松稲荷の初午祭が、又三月八日(日)には中城町の初午祭が、地元住民が参加して行なわれました。

特に三本松初午祭では参加者に福引きが用意され、一等のお米や二等のお酒が当たる度に歓声が起こっていました。



源平衛稲荷の初午祭には、豆田の住民20名が参加、家内安全や商売繁盛を祈って参拝



三本松地区の発展を願って行なわれた初午祭、原田市長も駆け付け挨拶を行う

中城町公民館 落成式開催!

二月十五日(日)、中城町公民館の落成式が開催されました。

この公民館は昭和三十八年に建てられた施設で、建設以来五十二年が経過し雨漏りなどの老朽化が著しいことから、改修が検討されてきました。

挨拶に立った和田忠義中城町自治会長は「皆さんの協力の下、このような立派な公民館が完成する事ができました。実は土足でも利用出来る様にと段差をなくし床も土足使用になっていますが、あまりにも立派に出来たので暫くは靴を脱いで利用して下さい」とユーモアたっぷりに話されました。

この後、地元有志による踊りや歌の披露・天ヶ瀬のスコップ三味線の演奏が行なわれ、全員で完成を祝いました。



公民館完成までの経過報告と施設の概要について述べる和田自治会長